

元報かづえ

45年1月号

〔第86号〕

発行所

編集 発行人

大分県・日田・中津江村

川津一人



賀正

70年、明け行く中津江村(下荃弘)

年のはじめに

新年あけまして

おめでとうございます
毎年のことながら、あわ
たゞしい年の瀬も、恒例の
テレビ番組「ゆく年くる年
」が終ると、新しい年。

あれもこれも去年のこと
元日は子どもばかりでな
く、何となくたのしいもの
です。

一九七〇年という年は、
好むと好まざるとにかゝわ
らず、あらゆる意味で重要
な年といえましょう。

さて今年はいヌの年、
犬、いかな急坂も一気に
かけ上り、目的に向って勇
敢に突進するごとく、村民
の皆さんが人の和を更に深
め、より豊かな村づくりに
元気に飛び出したもので
す。

村の動態

44年12月日現在

世帯	824	戸
人口	3,724	人
男	1,923	人
女	1,801	人

年頭にあたりて

中津江村長 児塔務



ます。

大学問題をはじめ、沖縄、安保、年末総選挙と騒がしい四十四年を送り、一九七〇年の新春を迎え、まことに目出とうございます。

長い間の大問題でありました下釜ダムも完成し、水没者の方々の感謝料の問題も解決いたしましたして、ダムに関連します問題も一応終了いたしました。この事は村民各位のご理解とご協力のお蔭でありまして、厚くお礼を申し上げますと、水没者の方々のご多幸を心から、お祈りします十一月一日から本灌水を始めました下釜ダムは、いま満々と水をたたえ、兩岸の美林が湖面一杯に映え、素晴らしいながめを呈している

このダムの美観と森林美を資源とした観光開発を行い、村民の所得の増加に結びつける、いわゆる観光産業が今後の中津江村の大きな方向ではなかるうかと思

豊かな村づくり

さらに努力を

中津江村議会議長 矢原 金吾



国の施策も今年は、だんだんはつきりしてくると思っておりますが、要は村民の一

高度経済成長政策が農山村に過疎問題を引きおこし、米の増収運動が余剰米問題を惹き起させ、今農山村と農民は途方にくれておるの

あけましてお目出とうございます。村民各位におかれましては、お元気で御多幸な新春を迎えの事と存じ、心から祝辞申し上げます。昨年、年頭に際しては種々な抱負を持ち、あれこれと実行に移したいと念願しながら、思うことの半ばに達しなかつた事は誠に汗

一人が、村に横たわる問題を問題として意識し、考えることだと思ひます。昭和四十五年は全く新しい気持ちで皆様方と共に豊かな明るい村づくりに努力したいと思ひます。より以上のご協力の程をお願い申し上げます。

従来から中津江村が堅持してまいりました健全財政を踏襲しながら、僻地集会所、庁舎、保育所、幼稚園母子センター、老人福祉会館などの福祉施設の整備、充実、工場誘致などによる生活環境の拡充、さらに八女小国線を始め各道路の開発など広域行整にマッチしつつ中津江村に十分役に立つよう実施し、観光地として人々が期待を持って来村に値する観光地設計に努力し、この中津江村が文化度の高い、豊かな住みよい、そして若い人達に魅力ある安定した村づくりに、執行部、議会が協力し努力を重ねばならない時だと覚悟を新たにす次第で御座居ます。

皆様方の今まで以上の御指導、御鞭撻と御協力を賜

謹賀新年

村長

児塔務

助役

川津一冬

収入役

高山鶴吉

教育長

村松四郎

議事事務局長

高田房男

総務課長

川津清陸

社会課長

清水新八

産業課長

児塔民和

住民課長

平野吉秋

税務課長

井上幸道

外職員一同

りますよう、心から懇願申し上げます。

最後に各位の御多幸と、御健康をお祈り致しまして年頭の御挨拶といたし

御挨拶にかえて

教育長 村松四郎



容年十一月長谷部先生の

後任として、教育長を拜命いたしました。私は過去四十余年教育一筋に生きてまいりましたが、ただ子供を見つめてきたというだけで特になすこともなく、教育行政にいたっては全くのしろうとの私が、この重責をになうことになり、その責任の重大さをひしひしと感じております。幸い先輩の行跡に学び、村民の皆様の御理解と御支援のもとに微力をかたむけ最善をつくして、その職責を果したいと決意を新たにしている次第であります。

戦後の占領政策により学校教育制度の大改革が行なわれ、教育の根本理念まで

塗りかえられましたが、わが国の教育界は、国民の英和と勤勉による経済の高度成長に与えられ、爆発的発展普及を遂げました。然し四半世紀を経た今日、師弟間に世代の断絶を見るに至り。

社会の伝統を守りつつ、近代的新しい感覚に基づく体制を築き上げなければならぬと考えます。

一九七〇年代に私共に課せられた問題は、実に大きく困難なものと思われ、一致協力衆知を結集してよりよい中津江村を完成しなければならぬと深く覚悟するものであります。村民の皆様の絶大なる御後援をお願いいたします。

ごあいさつ

長谷部 秀丸

去る九月末日で教育委員の任期を終り、教育長の職を退きました。



申し上げます。

ふり返ってみますと、教育界にもさまざまな起伏がありました。つねに何かの問題をかかえ、混乱をともなわぬと考えます。

その意味からもこんどお役所の仕事から解かれましては、新たな視野のもとに社会の推移をながめ、自己を更新するよい機会を与へられたものと信じております。

教育のことに限らず、今日のような社会状況のなかでは誤りなく未来を展望し、変化に対応していくことは容易なことではありません。

なが、それだけに局部に埋没して全体を見失うことの

ないよう、常に自己を点検し再生する努力を怠ってはならぬと考えます。

これを機会にいよいよ研究と実践にはげみ、よりよい鯛生小学校になろうと職員、児童はがんばっております。

どうか今後ともよろしくお引きまわしの程をお願い申し上げます。

第十四回

学研教育賞受賞

鯛生小学校

昭和四十四年十一月二十一日、大分市商工会館において鯛生小学校が「第十四回学研教育賞」をうけました。

授けております。

この賞は学習研究社が教育効果をあげた学校をえらんで与える賞で、文部省、都道府県教育長協議会が後

今年是全国で六九一校、県内十一校の中にえらばれ、賞状と記念メダル及び、奨励金、そして副賞として同社発刊の「少年少女文学全集」全二十四巻と「学習大辞典」をもらいました。

表彰内容は、本校がこゝら表彰されます。

昭和四十五年の消防団出ぞめ式を一月十一日午前九時三十分から中津江中学校グラウンドでおこないます。

出ぞめ式には五つの分団一五〇名の団員が参加、寒風についてキビキビした操法訓練、勇ましい放水訓練がおこなわれます。

規律正しいなかにくりひろげられる式典を、一般の方も多数御参観下さい。この式上、永年勤続者三名が県消防協会長から、九名が日田消防協会長から表彰されます。

消防出ぞめ式

一月十一日

成人式を迎えた私の主張

りっぱな社会の一員になりたい

川辺部落 平島 文博

成人式 為、家の為、そしてすこし

を迎えるでも、本村発展の為に、一生懸命頑張ろうと思っております。十年一昔と言いますけれど、二十年という、長い年月を無事すごし、いよいよ、大人の仲間入りとして、選挙権を与えられ、その他わからない事が、私の前に立ちふさがっていると思います。それに挫折する事なく、長く勉強し、二十才の新歩を足がかりに、大きく飛躍し、良き先輩の築いた道を進み、これを守り育てて行きたいと思っています。



を延ばし、一段と本村の若者は、減る一方の様です。しかしながら、又一方では、長男の人達は、家の後継ぎ等で、農業、その他の職業に従事して、本村に残り、毎日元気で頑張っている様です。私も自分自身の

今や、新聞テレビでわかる様に、交通事故が毎日の様に増して来ている現状です。こう言う問題は、現代社会の大問題であります。それには、私達若者が先頭に立ち、一人一人と手を取り、事故を少しでもすくなくす

る事が私達の一つの役目ではないでしょうか。私は一人で考え思いましたが、本村には遊ぶ、楽しむと言う娯楽施設がなくて、休日等はぼんやりしてる時が多い様な気がします。時々は息ぬきに若者同志が集まって

いるんな事を語り合ったら良いなあと思う事もしばしばです。出来る限り、仕事を、レクリエーション等を両立して、成人式を迎へ、両親に感謝し又りっぱな社会の一員になりたいと思っています。

とつても元気な父

丸蔵小学校六年

北村

鍛

父は、五十三才だが、まだ元気いっぱいだ。朝早く酒一斗のものを、倉庫から持ち出し、店までもって来る。父は、一日ごとに。一里もはなれた村に商売に行く。朝八時ごろ出て午後の十二時半ごろ帰ってくる。商売に行かない時でも頼まれ物をやりに行く。夜になっても配達しなければならぬ重い物を倉庫から自動車に積む。

母がある日手伝にいつてすぐ帰ってきた。ぼくが「もう積んだ？」と、聞くと母は「もうおらやった」と

民生委員さんを総動員して、昨年十月一日現在で村内全世帯について調査した結果がまとまりました。

民生委員 調査員 民生委員

調査地区 中津江村 全世帯

調査世帯数 七四九

昭和四十四年十月一日現在

グンと上昇生活様式 生活用品調査結果集

品名	保有世帯数	保有率	備考
電気冷蔵庫	618	82.5	は内()内は農村電話、電話は農村電話、電話は農村電話、電話は農村電話
電話	210 (30)	28.0	
テレビ	74	9.9	
電気洗濯機	665	88.8	
電気掃除機	259	34.6	
オルガン	46	6.1	
ステレオ	68	9.1	
カメラ	281	37.5	
自動二輪車	168	22.4	
耕運機	190	25.4	
白黒テレビ		93.0	

1、電話のうち()内は農村電話、電話は農村電話、電話は農村電話、電話は農村電話
2、一世帯に2ヶ以上ある家庭も一世帯一ヶで計算

農委の抱負

農委の使命重大

七〇年代の農政

堤部落 五十三才

永瀬 勇雄



謹みて一九七〇年の新春を迎へるに当り、皆様方の御健昌と御幸福を心からお祈り致します。

旧年中は一方ならぬ御厚情と御支援を賜わり心から厚くお礼申し上げます。不肖今度、村議会の推薦を受け農業委員に就任致しました。もとより浅学非才その責任の重大なるを痛感致しております。

皆様も御承知の通り、今や日本の農業は一大転換期を迎へようとしています。戦後に於ける農地法が、働く農民への土地の解決とす

るならば、七十年代の農政は増産から減産へと移行する一大改新の時代とも言えるでしょう。戦前戦後を通じて農政は、一にも二にも増産の一語につきましたが米の生産過剰に依つて、今や生産調整の時代を迎えようとしています。米の生産過剰を調整するため、政府は作付転換を推進しようとしていますが、こうした政府の施策に対して、我々農民は如何なる農業を営んで行

くか、中津江村に於ける転換作物とは何か。こうした諸々の事情を考える時七十年代の農政に対して我々農業委員の使命は重大であると言はなければなりません。幸い賢明なる村民の皆様方の絶大なる御指導と御支援の程を心からお願ひし、七十年代の新しい農政と取り組んで行きたいと存じます。どうか御声援の程を心からお願い致します。

第二次中津江村職員

採用試験案内

昭和四十四年度第二次中津江村職員採用試験が次のとおりおこなわれます。

せんが、学校教育法による高校卒業程度の学力を必要とします。

一、試験区分及び職務の内容

昭和二十四年四月二日から、昭和二十九年四月一日までに生れた女子。

試験区分 一般事務

採用予定 二名

職務の内容 村長部局に

属し、事務員として女子に適當な業務に従事する。

二、受験資格

一、學歷 學歷は問いません。

三、試験の日時、場所

(第一次試験) 二月八日(予定)

四、試験の方法 教養試験

対象者 受験者全員

試験の内容 公務員として必要な一般的知識および、知能について択一式による筆記試験(英語の問題も出ることがある)。

(第二次試験) 試験の方法 人物試験

おおよび人物調査 対象者 第一次試験合格者全員。

試験の内容

人物試験については、主として人物について

の個別面接試験 人物調査については、本人の人物、性情、受験資格の有無、受験申込書の記載の真否等についての調査。

五、試験結果の発表

(第一次試験) 三月上旬(予定)

発表の方法 中津江村役場掲示板に掲示するほか合格者本人に通知する。不合格者には通知しない。

六、採用および給与

三月下旬(予定)

発表の方法 前に同じ。

七、受験手続

三月下旬(予定)

試験に要する経費は本人負担です。

八、採用候補者名簿の有効期間は原則として、一年間です。

九、初任給 初任給として月約二万円(本俸)

二月一日を期して、村内の農林家に調査員がおうかがいいたしますので、この目的を御承知のうえ、より正確な調査が出来ますよう格段の御協力をお願いいたします。

中津江役場総務課

その他

農林センサスが実施されます

二月一日

一九七〇年(昭和四十五年)世界農林業センサスが二月一日をもって全国一斉に実施されます。

センサスにおいては、農林業経営の実態、家族構成、労働日数、家畜、農機具等の保有状況など、農林庁政の指針となる基礎資料を整備し、将来に向つての方向づけをするもので、この目的は誠に重大なものがあ

ります。

二月一日を期して、村内の農林家に調査員がおうかがいいたしますので、この目的を御承知のうえ、より正確な調査が出来ますよう格段の御協力をお願いいたします。

二月八日(予定)

二月八日(予定)

つきあい酒

―その上手な飲み方―

寒くなってきました。

あつかんが恋しい季節です。これからは忘年会だ、新年会だのといろいろ飲む機会が多くなってきました。

昔から酒は「百薬の長」といわれるように、適量を飲んでいる分にはかえって薬になります。

そこで酒を飲む際に、飲んだ後に注意すべきことを考えてみましょう。

○飲む時は食べながら。
①空腹時の飲酒はさげる。

胃がからっぽの状態の時はアルコールの吸収速度はもっとも速く、そしてアルコールの濃度も薄められることがなく、どんどん吸収されます。満腹時ほど酔いが遅くなります。

②強アルコールのストレートは有害
濃度が高いとこれ又吸収が速くなります。我々の飲酒に適した濃度は十%前後これには日本酒、ビール、ブドウ酒などがあります。

しょうちゅうなどのように二十〜三十%に達するようなものは、水で薄めて飲むようにします。

ましてや空腹時にウイスキーやブランデーなどをストリートで飲むのはよくありません。これを度重ねると胃の粘膜に充血や炎症などを起し、慢性胃炎や胃潰瘍などの原因にもなります。

③時間をかけてゆつくり飲む
アルコールの吸収には時間があります。飲んだだけ拡散し吸収されず。

日本酒二合ぐらいなら二時間ぐらいかかって飲むのが適当です。

④物を食べながら
吸収されたアルコールは体内でアセトアルデヒドとなり物質にかわり、さらに酢酸を経て炭酸ガスと水に変わって体外に排泄されます。この分解の作用を行っているのが肝臓ですが、あとからあとから流れこむアルコールの洪水にはとても追いつけず、ついに消化しきれなくなつてアセトアルデヒドが体内に残る。これが二日酔いの実体です。酒飲みにとって二日酔い程やっかいなものはありません。しかしいづれも決定的な治療法がまだない。ようするに、自分の適量を知り深酒をしないこと。分りきつたことですが、結局落ちつたところはこのようです

アルกอฮอล์は主として肝臓で分解されますが、これを助けると同時に、アルコールの有害作用から体を守る意味からも物を食べながら飲むことです。

どんな食べ物が適切かといひますと、アルコールは主として肝臓で解毒されるのでメチオニンというアミノ酸が必要です。これには肉、卵、チーズ、サシミ、ソーセージなど蛋白質を多く含むものに含まれていま

す。

⑤二日酔につける妙薬はない
吸収されたアルコールは体内でアセトアルデヒドと

いう物質にかわり、さらに酢酸を経て炭酸ガスと水に変わって体外に排泄されます。この分解の作用を行っているのが肝臓ですが、あとからあとから流れこむアルコールの洪水にはとても追いつけず、ついに消化しきれなくなつてアセトアルデヒドが体内に残る。これが二日酔いの実体です。酒飲みにとって二日酔い程やっかいなものはありません。しかしいづれも決定的な治療法がまだない。ようするに、自分の適量を知り深酒をしないこと。分りきつたことですが、結局落ちつたところはこのようです

⑥二日酔につける妙薬はない
吸収されたアルコールは体内でアセトアルデヒドと

いう物質にかわり、さらに酢酸を経て炭酸ガスと水に変わって体外に排泄されます。この分解の作用を行っているのが肝臓ですが、あとからあとから流れこむアルコールの洪水にはとても追いつけず、ついに消化しきれなくなつてアセトアルデヒドが体内に残る。これが二日酔いの実体です。酒飲みにとって二日酔い程やっかいなものはありません。しかしいづれも決定的な治療法がまだない。ようするに、自分の適量を知り深酒をしないこと。分りきつたことですが、結局落ちつたところはこのようです

⑦二日酔につける妙薬はない
吸収されたアルコールは体内でアセトアルデヒドと

いう物質にかわり、さらに酢酸を経て炭酸ガスと水に変わって体外に排泄されます。この分解の作用を行っているのが肝臓ですが、あとからあとから流れこむアルコールの洪水にはとても追いつけず、ついに消化しきれなくなつてアセトアルデヒドが体内に残る。これが二日酔いの実体です。酒飲みにとって二日酔い程やっかいなものはありません。しかしいづれも決定的な治療法がまだない。ようするに、自分の適量を知り深酒をしないこと。分りきつたことですが、結局落ちつたところはこのようです

⑧二日酔につける妙薬はない
吸収されたアルコールは体内でアセトアルデヒドと

いう物質にかわり、さらに酢酸を経て炭酸ガスと水に変わって体外に排泄されます。この分解の作用を行っているのが肝臓ですが、あとからあとから流れこむアルコールの洪水にはとても追いつけず、ついに消化しきれなくなつてアセトアルデヒドが体内に残る。これが二日酔いの実体です。酒飲みにとって二日酔い程やっかいなものはありません。しかしいづれも決定的な治療法がまだない。ようするに、自分の適量を知り深酒をしないこと。分りきつたことですが、結局落ちつたところはこのようです

⑨二日酔につける妙薬はない
吸収されたアルコールは体内でアセトアルデヒドと

いう物質にかわり、さらに酢酸を経て炭酸ガスと水に変わって体外に排泄されます。この分解の作用を行っているのが肝臓ですが、あとからあとから流れこむアルコールの洪水にはとても追いつけず、ついに消化しきれなくなつてアセトアルデヒドが体内に残る。これが二日酔いの実体です。酒飲みにとって二日酔い程やっかいなものはありません。しかしいづれも決定的な治療法がまだない。ようするに、自分の適量を知り深酒をしないこと。分りきつたことですが、結局落ちつたところはこのようです

⑩二日酔につける妙薬はない
吸収されたアルコールは体内でアセトアルデヒドと

いう物質にかわり、さらに酢酸を経て炭酸ガスと水に変わって体外に排泄されます。この分解の作用を行っているのが肝臓ですが、あとからあとから流れこむアルコールの洪水にはとても追いつけず、ついに消化しきれなくなつてアセトアルデヒドが体内に残る。これが二日酔いの実体です。酒飲みにとって二日酔い程やっかいなものはありません。しかしいづれも決定的な治療法がまだない。ようするに、自分の適量を知り深酒をしないこと。分りきつたことですが、結局落ちつたところはこのようです

⑪二日酔につける妙薬はない
吸収されたアルコールは体内でアセトアルデヒドと

いう物質にかわり、さらに酢酸を経て炭酸ガスと水に変わって体外に排泄されます。この分解の作用を行っているのが肝臓ですが、あとからあとから流れこむアルコールの洪水にはとても追いつけず、ついに消化しきれなくなつてアセトアルデヒドが体内に残る。これが二日酔いの実体です。酒飲みにとって二日酔い程やっかいなものはありません。しかしいづれも決定的な治療法がまだない。ようするに、自分の適量を知り深酒をしないこと。分りきつたことですが、結局落ちつたところはこのようです

⑫二日酔につける妙薬はない
吸収されたアルコールは体内でアセトアルデヒドと

いう物質にかわり、さらに酢酸を経て炭酸ガスと水に変わって体外に排泄されます。この分解の作用を行っているのが肝臓ですが、あとからあとから流れこむアルコールの洪水にはとても追いつけず、ついに消化しきれなくなつてアセトアルデヒドが体内に残る。これが二日酔いの実体です。酒飲みにとって二日酔い程やっかいなものはありません。しかしいづれも決定的な治療法がまだない。ようするに、自分の適量を知り深酒をしないこと。分りきつたことですが、結局落ちつたところはこのようです



アルกอฮอล์は主として肝臓で分解されますが、これを助けると同時に、アルコールの有害作用から体を守る意味からも物を食べながら飲むことです。

どんな食べ物が適切かといひますと、アルコールは主として肝臓で解毒されるのでメチオニンというアミノ酸が必要です。これには肉、卵、チーズ、サシミ、ソーセージなど蛋白質を多く含むものに含まれていま

す。

⑤二日酔につける妙薬はない
吸収されたアルコールは体内でアセトアルデヒドと

いう物質にかわり、さらに酢酸を経て炭酸ガスと水に変わって体外に排泄されます。この分解の作用を行っているのが肝臓ですが、あとからあとから流れこむアルコールの洪水にはとても追いつけず、ついに消化しきれなくなつてアセトアルデヒドが体内に残る。これが二日酔いの実体です。酒飲みにとって二日酔い程やっかいなものはありません。しかしいづれも決定的な治療法がまだない。ようするに、自分の適量を知り深酒をしないこと。分りきつたことですが、結局落ちつたところはこのようです

⑥二日酔につける妙薬はない
吸収されたアルコールは体内でアセトアルデヒドと

いう物質にかわり、さらに酢酸を経て炭酸ガスと水に変わって体外に排泄されます。この分解の作用を行っているのが肝臓ですが、あとからあとから流れこむアルコールの洪水にはとても追いつけず、ついに消化しきれなくなつてアセトアルデヒドが体内に残る。これが二日酔いの実体です。酒飲みにとって二日酔い程やっかいなものはありません。しかしいづれも決定的な治療法がまだない。ようするに、自分の適量を知り深酒をしないこと。分りきつたことですが、結局落ちつたところはこのようです

⑦二日酔につける妙薬はない
吸収されたアルコールは体内でアセトアルデヒドと

いう物質にかわり、さらに酢酸を経て炭酸ガスと水に変わって体外に排泄されます。この分解の作用を行っているのが肝臓ですが、あとからあとから流れこむアルコールの洪水にはとても追いつけず、ついに消化しきれなくなつてアセトアルデヒドが体内に残る。これが二日酔いの実体です。酒飲みにとって二日酔い程やっかいなものはありません。しかしいづれも決定的な治療法がまだない。ようするに、自分の適量を知り深酒をしないこと。分りきつたことですが、結局落ちつたところはこのようです

⑧二日酔につける妙薬はない
吸収されたアルコールは体内でアセトアルデヒドと

いう物質にかわり、さらに酢酸を経て炭酸ガスと水に変わって体外に排泄されます。この分解の作用を行っているのが肝臓ですが、あとからあとから流れこむアルコールの洪水にはとても追いつけず、ついに消化しきれなくなつてアセトアルデヒドが体内に残る。これが二日酔いの実体です。酒飲みにとって二日酔い程やっかいなものはありません。しかしいづれも決定的な治療法がまだない。ようするに、自分の適量を知り深酒をしないこと。分りきつたことですが、結局落ちつたところはこのようです

⑨二日酔につける妙薬はない
吸収されたアルコールは体内でアセトアルデヒドと

いう物質にかわり、さらに酢酸を経て炭酸ガスと水に変わって体外に排泄されます。この分解の作用を行っているのが肝臓ですが、あとからあとから流れこむアルコールの洪水にはとても追いつけず、ついに消化しきれなくなつてアセトアルデヒドが体内に残る。これが二日酔いの実体です。酒飲みにとって二日酔い程やっかいなものはありません。しかしいづれも決定的な治療法がまだない。ようするに、自分の適量を知り深酒をしないこと。分りきつたことですが、結局落ちつたところはこのようです

⑩二日酔につける妙薬はない
吸収されたアルコールは体内でアセトアルデヒドと

いう物質にかわり、さらに酢酸を経て炭酸ガスと水に変わって体外に排泄されます。この分解の作用を行っているのが肝臓ですが、あとからあとから流れこむアルコールの洪水にはとても追いつけず、ついに消化しきれなくなつてアセトアルデヒドが体内に残る。これが二日酔いの実体です。酒飲みにとって二日酔い程やっかいなものはありません。しかしいづれも決定的な治療法がまだない。ようするに、自分の適量を知り深酒をしないこと。分りきつたことですが、結局落ちつたところはこのようです

⑪二日酔につける妙薬はない
吸収されたアルコールは体内でアセトアルデヒドと

いう物質にかわり、さらに酢酸を経て炭酸ガスと水に変わって体外に排泄されます。この分解の作用を行っているのが肝臓ですが、あとからあとから流れこむアルコールの洪水にはとても追いつけず、ついに消化しきれなくなつてアセトアルデヒドが体内に残る。これが二日酔いの実体です。酒飲みにとって二日酔い程やっかいなものはありません。しかしいづれも決定的な治療法がまだない。ようするに、自分の適量を知り深酒をしないこと。分りきつたことですが、結局落ちつたところはこのようです

⑫二日酔につける妙薬はない
吸収されたアルコールは体内でアセトアルデヒドと

いう物質にかわり、さらに酢酸を経て炭酸ガスと水に変わって体外に排泄されます。この分解の作用を行っているのが肝臓ですが、あとからあとから流れこむアルコールの洪水にはとても追いつけず、ついに消化しきれなくなつてアセトアルデヒドが体内に残る。これが二日酔いの実体です。酒飲みにとって二日酔い程やっかいなものはありません。しかしいづれも決定的な治療法がまだない。ようするに、自分の適量を知り深酒をしないこと。分りきつたことですが、結局落ちつたところはこのようです

いう物質にかわり、さらに酢酸を経て炭酸ガスと水に変わって体外に排泄されます。この分解の作用を行っているのが肝臓ですが、あとからあとから流れこむアルコールの洪水にはとても追いつけず、ついに消化しきれなくなつてアセトアルデヒドが体内に残る。これが二日酔いの実体です。酒飲みにとって二日酔い程やっかいなものはありません。しかしいづれも決定的な治療法がまだない。ようするに、自分の適量を知り深酒をしないこと。分りきつたことですが、結局落ちつたところはこのようです

募集!!

大分県産業開発青年隊

才以上、二
十四才未満
応募方法 次
の書類を土木
事務所に提出
すること
①入隊申込
書、②履歴書
及び身上調
書、③写真(

上半身脱帽、名刺型、最
近三ヶ月以内のもの)
④最終学校の卒業もしくは
成績証明書 ⑤健康診
断書(保健所及び公立医
療機関の証明する二ヶ月
以上のもの) ⑥戸籍抄
本 ⑦産業開発青年隊訓
練合格証明書
⑧及び⑦の用紙は土木事
務所にあります。
選考試験
①日時 昭和四十五年一
月二十五日(午前九時
〜午後五時)
②場所 大分文化会館第
一ホール
③内容 筆記試験(国語
数学、理科、社会及び
作文)並びに面接試験
合格決定 昭和四十五年一
月二十八日(本人通知
訓練所の所在地 大分市大

危険がいっぱい
冬の暖房
(そこに危険が)
子どもを
おいての
留守はもつとも
危険
字中判田竹ノ下
施設 隊舎、実習室、車庫
自動車運転練習場、各種
測量機械、建設機械、自
動車類
訓練期間 昭和四十五年四
月から昭和四十六年三月
までの一カ年間
教育内容 一般教養教育、
技術教育
所要経費 入隊時に必要
①教科書及び参考書 七〇〇〇円
②食費 九〇〇〇円
③被服 半長靴等 八〇〇〇円
④自治会費二五〇〇円
合計 二五〇〇〇円
募集しめきり
昭和四十五年一月十四日
その他詳細については土
木事務所に問合せ下さ
い)

